

以上の議案は原案どおり可決されました。

■人権擁護委員候補者の推薦について

適任の意見を付け、内山田靖子氏が推薦されました。

一般質問

編集／大町町議会

大町ふるさと館の有効活用について

三谷 英史

議員 大町ふるさと館の情報発信機能を果たすため、当館の集客、来館者増を促す運営、施策を検討すべき。

町長 これまでの「情報プラザ」とは違った「アンテナショップ・大町ふるさと館」

として、新しい指定管理者と「ふるさと納税返礼品」のPRを中心に、町の活性化、国道34号沿いの賑わい創出のため、民間目線を取り入れながら、知恵を出し合い所期の目的を果たしていきたいと考えています。

国スポ開催について

北沢 聡

議員 昭和51年に開催された若楠国体以来、48年ぶり、さらに今回より名称も国スポ、全障スポとして佐賀県で開催。当町においても銃剣道の大会が開催されることについて

①町民の方への更なる認知度の向上について
②この銃剣道大会を開催することにより大町町の今後を活かせることはないか？

教育委員会事務局長

①町内銃剣道競技会への認知は十分にはかかれていないので、十分ではないと考えて

います。議員ご指摘の通り、銃剣道そのものの認知も低いと思います。今までは区長会、分館長会などで周知活動を行っています。ひじり学園の7・8年生を対象に体育の時間で銃剣道の授業をここ数年継続して実施しています。そういったこともあり、9年生の生徒が女子日本一になり、その栄誉を称えるために旧町立病院前に横断幕を設置、その横断幕の横にも銃剣道競技のピクトグラムを掲載しています。納涼まつりやサンマ祭りでは特設ブースを設けたり、実際に演武を披露したりしています。また、

2月26日発行の佐賀新聞「SAGA2024新しい大会へ。20市町熱戦の舞台」という特集記事に、町長の銃剣道競技の防具付き写真も含め本大会PRの記事を掲載しています。

今後計画していることとして、FM佐賀の「さがのど!まんなか 大町町いい住」で3月に2回、国

スポ銃剣道競技のインフォメーションを流します。次に、SAGA2024ののぼり旗を町内の公共施設等に依頼して展示をします。そして、4月21日には国民スポーツ大会のデモンストレーションスポーツとしてウォーキングを行います。約200名の町内外からの参加を見込んでいます。そのパンフレットを作成中です。大町温泉を出発し六角川の土手を散策するコースを計画しています。その際にも国スポ本大会の競技種目である銃剣道競技のPRをしっかりとらせていただきます。また、公用車には銃剣道競技のピクトグラムを描いたマグネットを貼りつけ広告できるよう現在、製品を作成中です。

その他にも、閲覧板での周知や4月から月1回の町内放送での周知を予定しています。各地区の総会等に出席し、本大会の案内をさせていただけようと考えています。広報おおまちでは、

4月号から特設で掲載していく予定です。また、まちバスへの広告掲載、本大会までのカウントダウンの表示など、広く町民に対し、国スポ銃剣道競技開催について機運醸成を図っていきます。

さらに今後、本大会実施に向け、白石高等学校、佐賀農業高等学校、大町ひじり学園の生徒に補助員をお願いいたします。大町保育園、大町ひじり学園の園児や児童生徒には、各都道府県の応援のぼり旗を作成してもらいます。のぼり旗が出来次第、公共施設等へ一部設置していくよう考えています。大会当日は大町ひじり学園の児童生徒用観覧席も準備する予定です。このようない取り組みを行い、園児・児童・生徒を通じて、家族や町民への周知につながるかと考えています。

まだまだPRの方法は十分ではないと思いますので、その都度アイデアをいただいたり、ご助言をいた